

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

2018年7月5日 (木)

NO. 872号 本号3頁

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007

ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

FAX03-3261-5453

## 国民投票法改正案 本日審議入り

### しかし、今国会での成立見送り？

衆院憲法審査会が5日、9時30分に開催され、「日本国憲法の改正手続に関する法律の一部を改正する法律案（細田博之君外7名提出）」の趣旨と概要の説明が、提案者を代表して細田博之委員から行われました。細田氏の説明が3分、全体でも5分、次回の開催日時も示されず、終了しました。憲法会議から平井・高橋が傍聴しました。

自民、公明両党は、憲法改正の国民投票の詳細を公職選挙法に合わせる国民投票法改正案について、今国会成立を見送る方針を固めました。立憲民主党など野党が慎重姿勢を崩さない中、強行に採決すれば、与野党対立で改憲論議が停滞しかねないと判断したようです。改めて秋の臨時国会で成立を目指すとしています。

自民党関係者によると、参院の定数を「6増」する公職選挙法改正案の成立を優先させたい参院自民党が、国民投票法改正案の参院での審議入りに難色を示しているとのこと。今国会で改憲項目に関する与野党の議論が深まらず、国民投票制度を急いで整える必要がなくなったという事情もあるようです。与党は衆院で継続審議扱いにする方針です。

改正案は、駅や商業施設への共通投票所設置などを認め、現行の公選法とのずれを解消するものです。27日に、自公両党が日本維新の会、希望の党と4党で提出しました。

#### 国民投票法案は「安倍9条改憲の誘い水」

自民党の狙いは憲法審査会を動かし、3月25日の党大会で示した9条改憲など改憲4項目の条文素案を論議させ、改憲論議を前に進めたいのです。いわば、国民投票法案は「安倍9条改憲の誘い水」となるものです。日本共産党の小池書記局長は、与党が改正案を「一連の公選法改正と横並びのもの」としていることについて、「公選法とは全く違う。国民投票法は改憲手続き法だ」と批判し、「共産党としては、この法案は認められないという立場でのぞむ」と語っています。

## 米国務長官 北朝鮮 キム委員長と会談へ 5日に出発

歴史上初めてシンガポールで開催された米朝首脳会談の共同声明には、①平和と繁栄に向けた両国国民の願いに従って新しい米朝関係を確立する、②朝鮮半島の永続的かつ安定的な平和体制を構築する、③北朝鮮は朝鮮半島の完全な非核化に向け努力する等が盛り込まれました。70年にわたり敵対関係にあった両国の首脳が会談を行い、「新しい米朝関係」の確立、すなわち「戦争と敵対」から「平和と繁栄」に転換させ、朝鮮半島の非核化と平和体制構築に向けた努力を確認したことはまさに歴史的なことでした。

文大統領が「戦争の脅威から抜け出したこと以上に重要な外交的成果はない」と述べていますが、昨年は北朝鮮が核・ミサイル実験を繰り返し、米国の側も軍事的威嚇を行う、一触即発でいつ戦争になるかわからない不安と恐怖が世界を覆っていたことを考えると、今回の合意は大きな前進です。

その会談後、両国間では合意を具体化する動きも始まっています。北朝鮮は核・ミサイル実験を中止し、米韓合同軍事演習は当面中止となりました。さらに、朝鮮戦争で消息不明となった米兵の遺骨200体が北朝鮮から引き渡されました。

そして、米国政府は2日、先の米朝首脳会談の成果を実行に移すため、ポンペ



イオ国務長官が5日、北朝鮮を訪問し、非核化について協議すると明らかにしました。

金正恩朝鮮労働党委員長らと会談する予定だとしていて、非核化に向けた具体的な措置などについて進展が得られるのかが焦点となります。

これに関してアメリカ国務省は声明を出し、ポンペイオ長官は今月7日まで北朝鮮を訪問する予定で、北朝鮮側との協議を継続し、先の米朝首脳会談の成果を実行に移すためだとしています。

ポンペイオ長官はその後、8日まで東京を訪問し、日本とともに韓国側とも会談し、北朝鮮の非核化について話し合うということです。

## **陸上イージス配備に疑問！ 防衛相説明に秋田・山口両県知事**

米朝首脳会談後、朝鮮半島に平和の激動がおこっています。これまで、「北朝鮮の脅威」を最大の口実にした海外派兵、辺野古新基地、憲法9条改憲の策動などとともに、「イージス・アショア」の配備強行など大軍拡を進めて来た安倍政権、その根拠を失う事態となっています。それでも安倍政権は「イージス・アショア」の配備を強行しようとしています。

小野寺防衛相は22日、北朝鮮の弾道ミサイルを想定した陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備強行を狙い、秋田・山口両県を訪問しました。小野寺氏は米朝首脳会談の歴史的合意を無視、北朝鮮脅威に固執。住民の不安や反発が大きく広がりました。



### **秋田では知事が「北朝鮮の脅威が薄らいでも配備するのか」と追及！**

陸上自衛隊新屋演習場（秋田市）への配備計画について、小野寺氏は佐竹敬久知事や穂積志秋田市長らに説明。朝鮮半島情勢が激変する中でもなお配備に固執しました。

佐竹知事は、「北朝鮮が強硬姿勢から対話姿勢に転じ脅威が薄らいできている現在の状況においても早急に配備する必要があるのか」「配備そのものや、自衛隊施設以外にも含めて改めて最適地の選定をし直すなど、変更する余地はないのか」などの質問状を手渡しました。

また、防衛省が会談の前日に配備に向けた地質調査などの入札公告をしたことについて、「地元軽視だ」と抗議しました。

会談が行われた県庁前では「ミサイル基地『イージス・アショア』を考える県民の会」「イージス・アショアを考える勝平の会」「新屋住民の会」などの市民が抗議集会をひらき、配備反対を訴えました。

### **山口でも知事が「朝鮮半島情勢が変化中での配備の必要」かと追及！**

山口県では村岡嗣政知事、萩市の藤道健二市長、同市に隣接する阿武町の花田憲彦町長らに対し、萩市の陸自むつみ演習場への配備計画を説明。村岡知事が朝鮮半島情勢が変化中での配備の必要性をたずねたのに対し、小野寺氏は「北朝鮮の実際の脅威は変わっていない。イージス・アショアの整備には最低5年かかるが、（北朝鮮の）政策は一瞬で変わり得る」と強弁しました。

花田町長は、住民説明会（17日）での防衛省の説明は具体性に欠け、不安や不信が増したとし、「住民の不安が払しょくされないまま工事に向けた調査に着手すれば、『丁寧に説明する』という言葉はかすむ」と指摘。現地調査の公告（21日）について「開札（8月2日）までに不安が払しょくできなければ、開札しないという方法もあり得るのでは」と訴えました。

## **各地のとくくみ**

### **石川 「怒りの昼デモ」石川憲法会議と憲法を守りいかす共同センター**

石川憲法会議と憲法を守りいかす共同センターは27日、金沢市のいしかわ四高記念公園横に50人が集まり、「森友・加計」疑惑徹底究明、ウソとごまかしの安倍内閣の退陣を求める「怒りの昼デモ」を行いました。

出発前のあいさつで日本共産党の西村ひろし参院選挙区候補は、南北、米朝の首脳会談にふれ、「70年近い敵対関係を乗り越えて終止符を打つ大きな一歩が始まった」と歓迎し、「朝鮮半島の非核化と北東アジア地域の平和体制が構築・進展したら、沖縄の米海兵隊や安保条約の存在が根本から問われる。平和への流れに確信を持ち、くらし、平和、民主主義を守る先頭に立って頑張る」



と述べました。

デモ行進は、「憲法9条 世界の宝」と書いた横断幕を先頭に、「戦争法廃止」「安倍9条改憲NO」のパネルやのぼりを掲げ、「安倍内閣は退陣せよ」「森友・加計疑惑を究明せよ」「民主主義を守れ」等とコールし、繁華街に向けパレードしました。通行人や観光客の注目を集めました。

### **和歌山 「3000万署名」和歌山市民アクションが交流学習会開催**

「安倍9条改憲NO! 『3000万署名』和歌山市民アクション」は26日、交流学習会を和歌山市内で開きました。開会あいさつした神崎務氏は、3000万人署名が和歌山市で22日現在2万3002人分寄せられたことを報告。引き続き、署名・宣伝を強めようと訴えました。

情勢報告した「憲法九条を守るわかやま県民の会」の西村佳三事務局長は、安倍政権が9条改憲の口実にしてきた北朝鮮問題で、米朝首脳会談など平和の方向で劇的な動きを示していることを指摘。「それでも安倍首相は改憲をあきらめない。3000万人署名で息の根を止める必要がある」と訴えました。

各団体から「戦争体験された人たちが率先して行動してくれている」など活動報告があり、閉会あいさつした南本禮子さんは「憲法を変えるのではなく、いかす必要がある」と訴えました。

### **埼玉 埼玉ユニオンが組合員の5倍にあたる1000人の署名目標を達成!**

埼玉労連の個人加盟組合、全労連・埼玉ユニオン(SU)は組合員の5倍にあたる1000人の署名目標を労組一番乗りで達成しました。

またSUの「高崎線沿線のつどい」が6月24日(日)に桶川の「響カフェ」で、「憲法カフェ」を開催し、埼玉中央法律事務所の小内弁護士を囲み、「憲法とは何か」「憲法と私たちの暮らし」「自民党の憲法9条改憲案」をテーマに話をしました。

犬の散歩をしていて響カフェの前に貼られていたチラシを見たという20代前半の女性も友達と一緒に来てくれて、参加者は21人でした。

大きなテーブルを囲み、コーヒーを飲みながらということもあり、皆さん積極的に発言してくれました。



### **宮城県民連 「アベ政治を許さない」と、300回目のデモ行進**

5月25日、「アベ政治を許さない!大崎金曜d e m o行動」が300回を迎え、35人が参加しました。原発再稼働反対・金曜日行動として2012年8月に始まり、前回までにのべ6122人が参加。2015年秋からは、「戦争反対」や「脱原発」に賛同する人、どちらかでも一致する個人と団体が集い、集会、行進などにとりくんできました。

主催者代表の只埜齊さん(大崎健康福祉友の会)は、「野党と市民の共闘で、一日も早く安倍政治をやめさせよう」と訴え。参加者からは、「デモをこれだけ続けてするのがすごい。原発事故を風化させてはいけない」「福島の実状を真剣に受け止めにしなければいけない」との感想が出ました。

その後、「原発いらない」「ノー福島」「戦争するな、9条守れ」「戦争したがる総理はいらない」とアピールしながら行進しました。(田中千枝、事務) <民医連新聞7月2日号より>

9条改憲NO! 北東アジアの平和と共生を!  
政治の腐敗と人権侵害を許さない

---

安倍政権の即刻退陣を要求する

# 7・19国会前大行動

7/19 (木) 18:30~20:00 国会正門前

主催: 戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会